



安全互助会だより

第21号（令和7年8月20日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
第二道通ビル
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201
URL <http://www.h-anzen.com/>



相互扶助の精神

理事長 海 東 剛 哲

本会は設立以来、11年目になりますが、これまで「PTA・青少年教育団体共済法」に則り、適切に運営してまいりました。安定した運営ができていのも、皆様方に加わっていただいている「北海道高等学校PTA連合会」のしっかりした団体の上に本会が組織されているからです。

その共済法の第1条の中に、「PTA及び青少年教育団体の相互扶助の精神」という言葉があります。現在、本会は約5万2千人の生徒と約3千3百人の教職員、さら

にその上に保護者の数を加えると、10万人をはるかに超える関係者が会員として組織している大きな団体です。

学校生活においてケガなどの災害が発生しないことが何より有り難いことですが、災害発生の際に一日も早く復帰できるよう援助するのが共済事業であり、大きな団体の会員の皆様一人ひとりがお互いに助け合うことで、本事業が成り立っているのです。運営責任者としての責任の重さは日々痛感しているところではありますが、今年度も、皆様の健康と安全を第一に本会の目的をしっかりと踏まえながら、各事業に真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力、そして本会事業への積極的なご活用をお願い申し上げます。

■ 令和7年度 定時評議員会

5月17日（土）16時00分から、ホテルライフオー・札幌において、令和7年度定時評議員会が、評議員16名中11名が出席し開催されました。

海東剛哲理事長の挨拶後、議長に鈴木貴之評議員、議事録署名人に長内一紀評議員、後藤田勇人評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

- ・ 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算の承認
事業報告では、加入数や安全普及啓発活動について、また、給付件数の減少や給付額の増加等が報告され、承認されました。
- ・ 第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算の報告
2月15日（土）の令和6年度第4回理事会で決定された令和7年度の具体的な事業計画と収支予算が承認されました。
- ・ 第3号議案 評議員の選任
13名の評議員の辞任を了承し、新たに補充する13名を選任しました。任期は令和8年度定時評議員会終了時までです。
- ・ 第4号議案 役員（理事・監事）の選任
5名の理事の辞任とともに、1名の理事の増員を了承し、新たに6名の理事の選任をしました。また、1名の監事の辞任を了承し、新たに1名の監事を選任しました。任期はいずれも令和8年度定時評議員会終了時までです。

最後に海東理事長から今年度の役員（理事と監事）が紹介され、閉会しました。

■ 命を大切にする教育を推進します！

道教委の調査によると、令和4年度から5年度にかけて、道内の小学校、中学校、高校の全ての校種において暴力行為の発生件数が増加しており、合計で729件から1,249件へと推移しています。また、昨年度、道内において、少年を含む若者の凶悪犯罪が相次ぎ、高校生や大学生が尊い命を失った事件は記憶に新しいところです。子どもたちの健全育成を目的とする高P連や安全互助会にとりましても、このような状況を大変憂慮しており、二度と繰り返してはならないとの決意を強くしているところです。

子どもたちの健全な心と身体を養う学校の取組を支援することは、今後におきましても共済事業とともに本会の重要な使命と考えております。

令和6年度は、18校が「健康安全教室」や「命の大切を育む教育」をテーマとして性教育やがん教育などに関する講演会を実施しており、その取組に本会も支援させていただきました。性教育に関わる講演会に取り組んだ学校の生徒の声からは、「自分は今まで性の話を聞いてもあまり真剣に考えられなかったけど、今日の講話や出産の動画などを見て、性行為は人の命に関わることだから軽い気持ちではいけないことだとあらためて深く考える機会になりました。」「命の誕生は奇跡なんだとあらためてわかったのと、もっと自分を大事にしようと思いました。」「今日の講話を受けて、自分のことを大切に相手のことも尊重して大事に過ごしていきたいと思った。」など、自分自身だけではなく、他者も含めて命の大切さにあらためて知る貴重な機会との感想が届いており、本会としましても、大変やりがいのある事業と捉えております。

令和6年度共済金の給付状況

前年度より給付件数、給付額ともに減少しました。

共済金等給付総計	2,354件	28,255,200円
----------	--------	-------------

- ※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

○生徒への給付

死 亡	0 件	0 円
障 害	2 件	500,000円

- ※ 学校管理下（部活動）で障害が2件発生しました。

傷 病	2,346件	27,385,200円
-----	--------	-------------

- ※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて月毎に給付しています。実際に発生した災害の件数は1,667件でした。発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,076件、授業中418件、通学中117件、休憩中56件です。

部活動中では、バスケットボール、サッカー、野球で582件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計では、野球、サッカー、バスケットボールの順になっています。

部活動の次に多いのは授業中の418件で、そのうち303件は体育の授業中です。球技でのケガが多いですが、跳び箱やスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち84件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしているときのケガが多いですが、階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	518件
捻挫	136件
脱臼	87件
打撲・挫傷	191件
創傷	40件
靱帯損傷・断裂	370件
半月板損傷・断裂	58件
腱損傷・断裂	37件
歯牙破折	9件
その他負傷	7件
疾病	214件

骨折が最も多く、靱帯損傷・断裂、打撲・挫傷が続きます。疾病では、運動に起因するものが155件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは84件と多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。頭頸部と体幹部は3割、上肢部は2割となっています。

傷病と部位の関連のうち、骨折では手・指が最も多くついで足・指、足首、鼻と続きます。靱帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	0 件	0 円
------	-----	-----

- ※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香 料	3 件	300,000円
-----	-----	----------

- ※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷 病	3 件	70,000円
-------	-----	---------

- ※ PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、昨年度は3件発生しています。

令和6年度末財務状況

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,554,761	48,226,012	△ 10,671,251
現金預金（普通支払備金分）	854,300	689,500	164,800
現金預金（既発生未報告支払備金分）	13,581,500	15,889,441	△ 2,307,941
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	51,990,561	64,804,953	△ 12,814,392
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	150,127,345	120,127,345	30,000,000
責任準備金積立金	30,779,934	28,053,731	2,726,203
退職給付引当積立金	1,346,400	1,247,400	99,000
特定資産計	182,253,679	149,428,476	32,825,203
固定資産計	182,253,679	149,428,476	32,825,203
資産合計	234,244,240	214,233,429	20,010,811
II 負債の部			
1. 流動負債			
普通支払備金	854,300	689,500	164,800
既発生未報告支払備金	13,581,500	15,889,441	△ 2,307,941
未払金	0	0	0
預り金	254,535	316,772	△ 62,237
流動負債計	14,690,335	16,895,713	△ 2,205,378
2. 固定負債			
準備金	150,127,345	120,127,345	30,000,000
責任準備金	30,779,934	28,053,731	2,726,203
退職給付引当金	1,346,400	1,247,700	98,700
固定負債計	182,253,679	149,428,776	32,824,903
負債合計	196,944,014	166,324,489	30,619,525
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(37,300,226)	(47,909,240)	△ 10,609,014
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	37,300,226	47,909,240	△ 10,609,014
負債及び正味財産合計	234,244,240	214,233,729	20,010,511

令和7年度加入状況（7月末現在）

- 加入校 176校

- 生 徒 ・全日制 51,576人
・定時制 722人
・専攻科 147人
生徒計 52,445人

- 教職員 3,317人

- 子弟が在学していないPTA 114人

総 計 55,876人

- ※ 加入校数は、昨年度から4校減り、加入生徒数では、952人減少しました。

- ※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約160,000人です。

■ 令和7年度業務計画

4月3日	公認会計士監査
4月12日	監事監査
4月12日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
5月17日	定時評議員会
6月24日	6年度事業報告書提出（道教委へ）
7月10日	道教委関係部局との懇談会
7月26日	第2回理事会
7月28日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会
8月	役員変更届（道教委へ）
8月20日	互助会だより第21号発行
9月20日	一般財団法人 北海道高等学校安全互助会 役員研修会
10月初旬	公認会計士監査
11月27日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
12月14日	第3回理事会
2月1日	「令和8年度共済事業の手引」発行 互助会だより第22号発行
2月中旬	第4回理事会・審査委員会
3月	8年度安全普及啓発活動届出（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、秋には安全普及啓発活動として生徒や指導者等対象の事業を実施します。

■ 令和8年度から普及啓発事業を拡充！

本会の健康安全普及啓発活動の一環として、各校で実施される講演会等の外部講師の謝金及び旅費について補助する事業を行っています。

現在、大学の教授や心理士などの専門家を招聘して、心の健康や性教育に関する講話、がん教室や健康安全教室などの取組が実施されております。

今後においても、学校安全の視点から自身の健康とともに他者に対する健康や命を大切にする心の涵養は、きわめて大切な課題と考えており、来年度に向けて、本事業をさらに拡充する予定です。

具体的には、学校安全教育の三本柱である生活安全（防犯含む）、交通安全、防災安全や、学校保健教育の範囲を鑑み、スクールカウンセラーや道内で活躍したスポーツ選手による講演や実技指導、あるいは防犯・防災教育に関わる講演・実技訓練について、積極的に学校を支援してまいります。

学校の教育計画に基づいて実施できるよう、学校独自で講師等を設定できるよう、講師の情報提供も積極的に行う予定ですので、本事業を大いに活用していただきたいと思いますと考えております。

■ 令和7年度収支予算

《収入の部》

（単位：円）

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
会費収入	74,532,000	76,632,000	△ 2,100,000
雑収入	302,000	282,000	20,000
準備金等戻入額	17,205,235	17,625,729	△ 420,494
収入合計	92,039,235	94,539,729	△ 2,500,494

《支出の部》

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
事業費	96,310,000	96,720,000	△ 410,000
共済給付事業費	52,000,000	54,000,000	△ 2,000,000
準備金等繰入額	23,819,781	24,670,551	△ 850,770
安全普及費	4,190,000	4,190,000	0
広報事業費	2,400,000	2,300,000	100,000
助成事業費	1,500,000	1,200,000	300,000
調査研究費	1,660,000	1,460,000	200,000
人件費	6,410,000	4,800,000	1,610,000
需用費	4,130,000	3,780,000	350,000
雑費	200,219	319,449	△ 119,230
管理費	12,220,000	16,030,000	△ 3,810,000
人件費	7,809,000	9,499,000	△ 1,690,000
事務費	2,010,000	3,110,000	△ 1,100,000
需用費	2,180,000	3,200,000	△ 1,020,000
雑費	221,000	221,000	0
当期支出合計	108,530,000	112,750,000	△ 4,220,000
当期収支差額	△ 16,490,765	△ 18,210,271	1,719,506
前期繰越収支差額	31,429,033	49,320,502	△ 17,891,469
次期繰越収支差額	14,938,268	31,110,231	△ 16,171,963

事務局から

- ・ 請求書の学校長・PTA会長職印の押印忘れや、継続であっても初めての請求の際には災害報告書の写しを添付することに留意してください。



保健室からこんにちは！！



「性に関する講演会」を終えて

北海道石狩翔陽高等学校養護教諭
中道 真由美

高校に勤務していると、生徒の成長を間近に感じられる場面に出会います。学校行事の成功に向けて力を合わせて取り組む姿、進路実現に向けて頑張る姿はもちろんのこと、時には悩んだり、迷ったりしている姿も見られ、それすらも成長の一つの姿なのだろうと、頼もしく感じています。

友達や家族との関係、部活動、進路、時にはアルバイトでの話まで、保健室には毎日多くの相談が持ち込まれます。中には恋愛や性に関する相談が少なからず含まれるのもこの年代の特徴でしょう。傾聴するだけで気持ちがスッキリするものから、アドバイスを交えながら一緒に考えるもの、時には医療機関等につなげる必要のある深刻なものまで、様々なケースが見られます。

生徒は性に関する正しい知識を得て、自ら健康で安全な生活ができる力を身に付けることによって、性の健康に関するトラブルや望まない妊娠を防ぐことができます。

本校では毎年6月に、助産師さんをお招きして「性に関する講演会」を実施しております。今年で14回目の実施となり、今年度は、北海道高等学校安全互助会の「健康安全普及事業」の補助を受けて実施することができました。

講演では、生徒に必要な性に関する知識だけではなく、自他を大切にしたコミュニケーションスキルを身に付ける内容も取り入れられました。

また、終了後には、生徒に振り返りの感想を書く時間を設け、講演を通じて感じたことに生徒自身が向き合う時間も大切にしています。更に、振り返りで記載された質問に、講師が回答を用意してくださっています。「一番危ない性感染症は何？」のように素朴なものから、「LGBTQの人との関わり方。何に気を付ければいいのか」「女性が月経の時、男性がしてあげられることは何か？」「自己決定については性だけではなく日常的にも関わりがあると思うのでもう少し詳しく知りたい」など、意欲の感じられる質問もみられました。

生徒に満足度を5段階で問う質問では、平均で4.6と高い評価となっており、生徒が今必要としている内容を、興味をもって聴くことのできた表れともとらえ、性の講演会を今後も大切にしていきたいと考えています。

令和7年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長	海東剛哲	(道高P連顧問・留萌)
常務理事	堀川貴庸	(道高P連会長・帯広南商)
常務理事	野尻敦子	(道高P連副会長・札幌国際情報)
常務理事	雨池工盛	(道高P連副会長・岩見沢東)
常務理事	橋本洋一	(道高P連副会長・市立札幌大通)
常務理事	遠藤美枝	(道高P連副会長・札幌月寒)
常務理事	今井宏昌	(道高P連副会長・帯広工業)
理事	佐賀 聡	(道高校長協会会長・札幌北)
理事	古谷 尚	(道高体連会長・札幌手稲)
理事	中道真由美	(道高養研副会長・石狩翔陽)

※ 常務理事等の業務担当

・運営総括担当	海東剛哲	理事長
・運営総括補佐担当	堀川貴庸	常務理事
・コンプライアンス担当	野尻敦子	常務理事
・コンプライアンス担当	雨池工盛	常務理事
・リスク管理担当	橋本洋一	常務理事
・理事会等議事録担当	今井宏昌	常務理事
・内部会計監査担当	遠藤美枝	常務理事

・監事

森下 亮	(道高P連監事・釧路工業)
蝦名竜次	(道高P連監事・寿都)
西垣 努	(道高P連監事・中標津)

・評議員

街道美恵	(道高P連石狩支部・札幌東)
金澤秀司	(道高P連道南支部・函館中部)
吹田英明	(道高P連後志支部・小樽桜陽)
進藤真砂也	(道高P連空知支部・滝川)
福沢勇氣	(道高P連旭川支部・旭川永嶺)
住吉智也	(道高P連留萌支部・留萌)
木賀義友	(道高P連名寄支部・名寄)
佐藤孝洋	(道高P連北見支部・網走南ヶ丘)
新村裕司	(道高P連十勝支部・帯広柏葉)
滝澤雅博	(道高P連釧路支部・釧路明輝)
荒井 豊	(道高P連根室支部・別海)
後藤田勇人	(道高P連胆振支部・室蘭栄)
新川智典	(道高P連日高支部・静内)
相馬利幸	(道高等学校長協会・札幌西)
高橋昌宏	(道高等学校教頭副校長会・札幌東)
鈴木貴之	(道公立学校事務長会・石狩翔陽)

令和7年度 審査委員会委員

末岡裕文	(北海道医師会常任理事)
田西 亨	(北海道歯科医師会常務理事)
駒井信和	(道高校長協会生徒指導委員長)
先名孝亘	(市立札幌新川高校PTA会長)
大槻由美	(札幌琴似工業高校PTA会長)